

コミュニティ福祉学科 カリキュラムマップ (2023 年度版)

本学では学科ごとにディプロマポリシーを定めています。ディプロマポリシーとはどのような能力・資質を備えた学生に学位を授与するのかという方針です。

この表は各授業が学科のディプロマポリシーのどの項目と連動し、受講することでどのような力が伸ばすことができるのかを示しています。履修する上で参考してみてください。

【コミュニティ福祉学科のディプロマポリシー】

1. (知識・理解) 社会、文化、自然についての幅広い知識・教養と、教育・社会福祉従事者として必要とされる基本的、専門的な知識を修得している。
2. (技能・能力) 国際化、情報化、高度技術化が進む現代社会を総合的に捉える適切な判断力、実践力、コミュニケーション方法を身につけている。
3. (問題発見・解決力) 教育・社会福祉従事者として、教育や福祉の現場の諸問題を自ら発見、理解し、論理的、実践的知識、資源を活用することで、問題解決に必要な方法を構想し、行動することができる。
4. (ジェネリックスキル) 他者の思いや考えを受け止め、理解するとともに、自らの思いや考えも的確に表現、発信し、円滑なコミュニケーションを取って協働することができる。
5. (市民性の涵養) 現代社会の市民として多様な人々の存在、様々な文化、価値観の存在を理解し、建学の精神である愛と奉仕の実践に基づき、社会や他者のために主体的に行動し貢献できる。
6. (自律性・生涯学習力) 教育・社会福祉従事者としての目標を絶えず持ち、その実現のための学修行動に主体的、自律的に取り組むことができる。

基礎教育科目

科目名	1 知識・ 理解	2 技能・ 能力	3 問題 発見・ 解決力	4 ジェネ リック スキル	5 市民性 の涵養	6 自律性 ・生涯 学習力
日本語表現法	○	○	○	○	○	○
日本語朗読法		○		○		
日本語読解法	○	○	○	○	○	○
日本語文章構成法		○	○	○		○
総合英語基礎	○	○				
英語リスニング&スピーキングⅠ		○				
英語リスニング&スピーキングⅡ		○				
英語スピーチクリニック		○				
英語リスニングスキル		○				
英語ポキャブラリービルディング		○				
英語構文理解	○	○	○	○		○
英語文章理解		○				
英語文章表現法		○				
総合英語応用Ⅱ		○				
総合英語応用Ⅳ		○				
総合英語応用Ⅴ		○				
フランス語Ⅰ				○		
フランス語Ⅱ		○		○		
ドイツ語Ⅰ		○		○		
ドイツ語Ⅱ		○		○		
中国語Ⅰ		○		○		
中国語Ⅱ		○		○		
韓国語Ⅰ		○		○		
韓国語Ⅱ		○		○		
日本語Ⅰ	○	○	○			
日本語Ⅱ	○	○	○			
ネットワーク・リテラシー	○	○				
情報発信演習Ⅰ		○				
情報発信演習Ⅱ	○	○	○	○	○	○
Webクリエイター演習		○				
社会基盤のICT概論	○	○				
アルゴリズムとプログラミングの基本	○	○				○
データベース	○	○				
健康余暇論	○		○		○	
健康行動学(健康・医療心理学)	○	○	○			
スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)		○	○	○		
スポーツ実技Ⅰ(ダンス)	○	○	○			○
スポーツ実技Ⅱ(フットサル)	○	○	○			○
スポーツ実技Ⅱ(PFC)	○	○	○			○
キリスト教と現代社会	○			○	○	○
キリスト教と現代社会	○			○	○	○
人間と哲学	○		○		○	○
人間と教育	○		○		○	○
人間と文学	○		○		○	○
人間の心と行動	○		○		○	○
人間と社会生活	○	○			○	
社会生活と法	○	○			○	
日本国憲法	○	○			○	
経済と社会	○		○		○	○
現代の国際社会	○	○	○	○	○	○
歴史と社会	○	○				
異文化の理解	○	○	○	○	○	○
生命の科学	○	○	○	○	○	○
健康と栄養科学	○	○				
自然と災害	○		○		○	○
科学技術と地球環境	○					
静岡の自然と環境	○	○	○			
静岡の歴史と文化	○					
静岡の風土と文学	○		○	○	○	○
地域創造フィールドワーク			○	○	○	○

専門教育科目

科目名	1 知識・ 理解	2 技能・ 能力	3 問題 発見・ 解決力	4 ジェネ リック スキル	5 市民性 の涵養	6 自律性 ・生涯 学習力
人間社会総論	○				○	
心理学基礎(心理学概論)	○	○			○	
経済学基礎	○		○	○	○	
経営学基礎	○	○			○	
社会学基礎	○	○				
英米文化論基礎	○					
言語学基礎	○	○	○	○		○
社会福祉総論Ⅰ	○	○	○		○	○
社会福祉総論Ⅱ	○	○	○		○	○
地域福祉論Ⅰ	○		○	○		
地域福祉論Ⅱ	○			○		
数理・データサイエンス・AI基礎	○	○	○	○	○	○
保育原理Ⅰ	○					
保育原理Ⅱ	○			○		○
教育原理	○					
幼児教育課程総論	○	○	○	○		
ソーシャルワーク論Ⅰ	○	○	○		○	
ソーシャルワーク論Ⅱ	○	○	○		○	
ソーシャルワーク論Ⅲ	○	○	○		○	
ソーシャルワーク論Ⅳ	○	○	○		○	
高齢者福祉論	○	○	○		○	
介護概論	○		○		○	
障害者福祉論	○	○	○	○	○	○
社会保障論Ⅰ	○	○	○	○	○	○
社会保障論Ⅱ	○	○	○	○	○	○
公的扶助論	○	○	○	○	○	○
社会理論と社会システム	○	○	○	○	○	○
福祉サービスの組織と経営	○	○	○	○	○	○
医療福祉論	○	○	○	○	○	○
社会調査法	○	○	○	○	○	○
児童家庭福祉	○	○	○			
保育内容総論	○	○	○	○	○	○
社会的養護	○	○	○			
保育の心理学	○	○				
教育・学校心理学	○			○		
発達心理学	○		○			
子どもの食と栄養Ⅰ	○		○	○		
子どもの食と栄養Ⅱ	○		○	○		
子どもの保健	○		○			
保育内容論-健康	○	○	○	○	○	○
保育内容論-人間関係	○	○	○	○	○	○
保育内容論-環境	○	○	○	○	○	○
保育内容論-言葉	○	○	○	○	○	○
保育内容論-表現	○	○	○	○	○	○
教師論	○		○			
教育社会学	○		○		○	
教育の方法及び技術	○	○				
幼児教育の方法と技術	○	○	○	○	○	○
社会・集団・家族心理学	○	○			○	
心理学特殊講義	○	○	○			○

専門教育科目（前ページからのつづき）

科目名	1 知識・ 理解	2 技能・ 能力	3 問題 発見・ 解決力	4 ジェネ リック スキル	5 市民性 の涵養	6 自律性 ・生涯 学習力
人体の構造と機能及び疾病	○		○	○		
心理学	○		○	○		
社会福祉援助技術論Ⅱ	○	○	○			
社会福祉援助技術論Ⅲ	○	○	○			○
司法福祉論	○	○	○	○	○	○
権利擁護を支える法制度	○	○	○	○	○	○
スクールソーシャルワーク論	○	○	○	○	○	○
ソーシャルワーカー・イノベーション演習						
社会福祉特講Ⅰ	○					
社会福祉特講Ⅱ	○					○
子ども家庭支援論	○	○	○			
生活学	○	○	○	○	○	○
精神保健論	○		○	○		
総合リハビリテーション論	○		○			○
介護技術論	○	○	○	○	○	○
老年学	○	○	○	○	○	○
国際福祉	○	○	○	○	○	○
女性福祉論	○		○	○	○	○
NPO論						
臨床心理学概論	○			○		○
レクリエーション論Ⅰ		○				○
レクリエーション論Ⅱ		○				○
体育・表現	○	○	○	○		
音楽療法入門		○			○	○
海外福祉現地研究			○	○		○
幼児理解	○	○	○			
保育内容演習－健康	○	○	○			
保育内容演習－人間関係	○	○	○			
保育内容演習－環境	○	○	○			
保育内容演習－言葉	○	○	○			
保育内容演習－表現	○	○	○			
教育・保育相談		○	○	○		
ピアノ教育		○				
音楽表現		○				
歌唱伴奏法		○		○		○
造形Ⅰ	○	○	○	○		○
造形Ⅱ	○	○	○	○	○	
乳児保育Ⅰ	○					
乳児保育Ⅱ	○		○	○		
障害児保育Ⅰ	○				○	
障害児保育Ⅱ	○				○	
子どもと言葉	○	○		○		
社会的養護内容	○	○	○			
子ども家庭支援の心理学						
ミュージカルⅠ			○	○	○	○
ミュージカルⅡ			○	○	○	○
相談援助演習Ⅰ		○	○			
相談援助演習Ⅱ		○	○			
相談援助演習Ⅲ		○	○			
相談援助演習Ⅳ		○	○			
スクールソーシャルワーク演習		○	○			○
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		○	○			○
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		○	○			○
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		○	○			○
ソーシャルワーク実習		○	○		○	○
スクールソーシャルワーク実習指導		○	○			○
ソーシャルワーク実習Ⅰ	○	○	○	○	○	○
ソーシャルワーク実習Ⅱ	○	○	○	○	○	○
子どもの健康と安全	○	○	○			
感情・人格心理学	○			○		
障害者・障害児心理学	○	○	○			○
心理的アセスメント	○	○	○			
教育相談(心理学的支援法)	○	○	○			
福祉心理学	○		○		○	
司法・犯罪心理学	○		○		○	
産業・組織心理学	○		○			
心理演習	○	○	○			
心理実習		○				○
保育実習Ⅰ(保育所)		○	○		○	○
保育実習Ⅰ(施設)		○	○		○	○
保育実習Ⅱ		○	○		○	○
保育実習Ⅲ		○	○		○	○
保育実習指導Ⅰ(保育所)		○	○		○	○
保育実習指導Ⅰ(施設)		○	○		○	○
保育実習指導Ⅱ		○	○		○	○
保育実習指導Ⅲ		○	○		○	○
幼稚園教育実習指導		○	○			
幼稚園教育実習		○	○			
キャリア形成論		○	○	○		
インターンシップ		○	○	○		
ICTと福祉	○	○	○			○
障害者スポーツ	○	○	○		○	
キャリアスタディ		○	○		○	○
キャリアデザイン演習Ⅰ	○	○	○	○	○	○
キャリアデザイン演習Ⅱ	○	○	○	○	○	○
基礎演習Ⅰ				○	○	○
基礎演習Ⅱ				○	○	○
基礎演習Ⅲ				○	○	○
基礎演習Ⅳ				○	○	○
専門演習Ⅰ						
専門演習Ⅱ						
卒業研究						

教職科目

科目名	1 知識・ 理解	2 技能・ 能力	3 問題 発見・ 解決力	4 ジェネ リック スキル	5 市民性 の涵養	6 自律性 ・生涯 学習力
教育課程の意義と編成の方法	○		○		○	
国語科教育法Ⅰ	○	○	○	○	○	○
国語科教育法Ⅱ	○	○	○	○	○	○
国語科教育法Ⅲ	○	○	○	○	○	○
国語科教育法Ⅳ	○	○	○	○	○	○
英語科教育法Ⅰ	○	○	○	○	○	○
英語科教育法Ⅱ	○	○	○	○	○	○
英語科教育法Ⅲ	○	○	○	○	○	○
英語科教育法Ⅳ	○	○	○	○	○	○
公民科教育法Ⅰ	○	○	○	○	○	○
公民科教育法Ⅱ	○	○	○	○	○	○
道徳の理論と指導法	○		○		○	
特別活動と総合的な学習の時間の指導法	○		○		○	
教育方法論(ICT活用の理論と実践を含む)	○	○				
特別支援教育						
学校体験活動						
生徒指導(進路指導とキャリア教育を含む)	○	○				
教育相談(心理学的支援法)	○	○		○		○
教職実践演習(中・高)	○		○			○
保育・教職実践演習(幼稚園)	○	○	○	○	○	○
教育実習Ⅰ		○		○		○
教育実習Ⅱ-A	○	○	○	○	○	○
教育実習Ⅱ-B	○	○	○	○	○	○